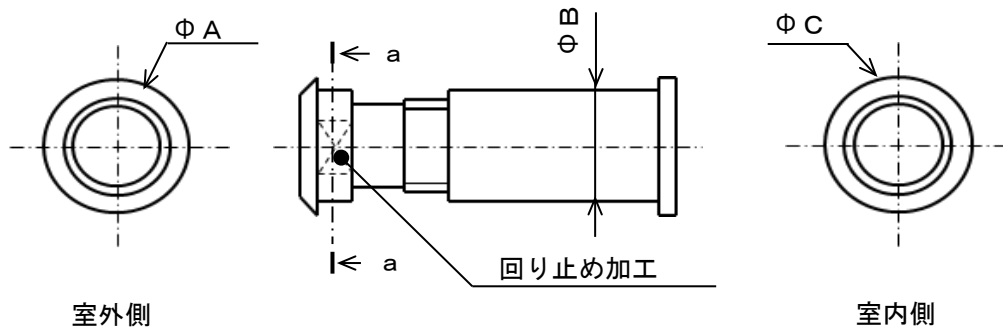


1. 対象部材
 玄関用ドアスコープ

略称：CjK ドアスコープ

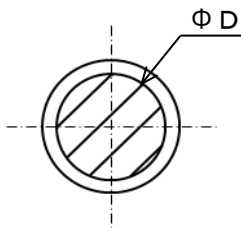
2. 標準(共通)化の部位
 標準(共通)化の部位を図1に示す。



注記) 回り止め加工は、有り無しがある

回り止め加工

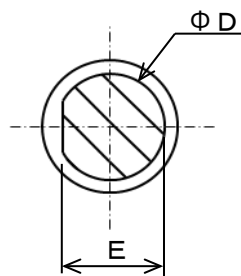
【回り止め加工無し】



a-a 断面

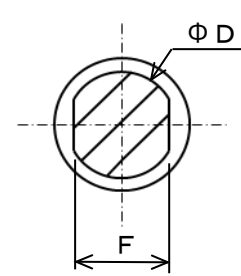
【回り止め加工有り】

1面カット



a-a 断面

2面カット



a-a 断面

A : 室外側外径
 B : 室内側胴体外径
 C : 室内側外径

D : 室外側胴体外径
 E : 回り止め加工(1面カット)
 F : 回り止め加工(2面カット)

図1 - 標準(共通)化の部位

3. 寸法・形状

図1の各部位の寸法を表1に示す。

表1－各部位の寸法

単位：mm

項目	寸法				
	加工無し	回り止め加工 (1面カット)		回り止め加工 (2面カット)	
	①	②	③	④	⑤
A：室外側外径	26.0	15.0	26.0	15.0	26.0
B：室内側胴体外径	12.0				
C：室内側外径	15.0				
D：室外側胴体外径	12.0				
E：回り止め加工(1面カット)	—	11.2		—	
F：回り止め加工(2面カット)	—			10.5	

4. 表示方法

部材・印刷物・電子媒体などに、長期使用対応部材であることを表示する。
または、“CjK” マークを表示する。

5. 特記事項

5.1 交換について

- ・ 交換を行う際には扉厚と回り止めの加工形状に対応した“CjK ドアスコープ”を手配すること。
- ・ ドアスコープは室外側と室内側から扉の取付穴に挟み込むように挿入し、締め付ける。

5.2 扉の取付穴加工形状について

- ・ 取付穴の加工形状の種類を図2に示す。
- ・ 取付穴の加工寸法を表2に示す。

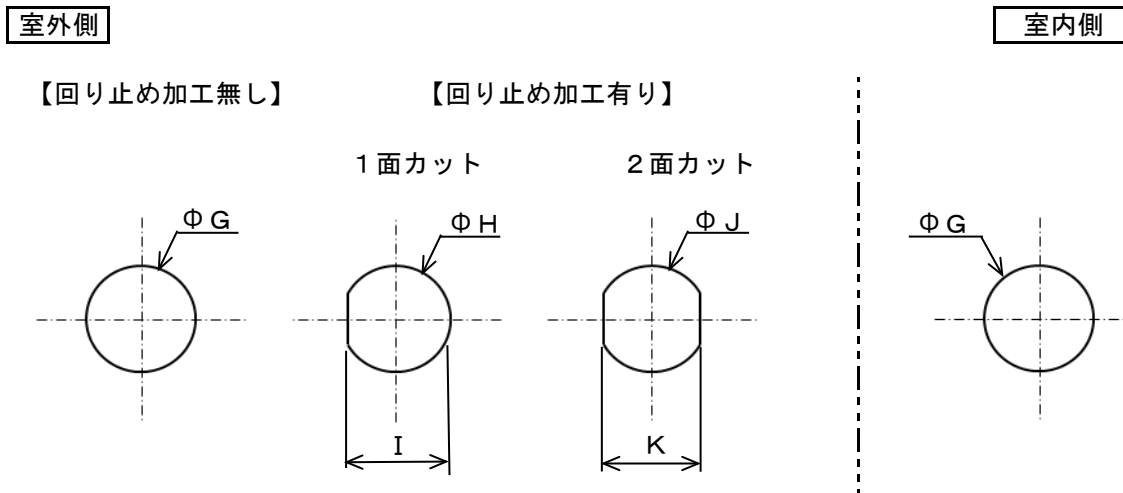


図2－取付穴の加工形状

表 2 - 扉側の取付穴加工寸法

単位：mm

項目	寸法
G：室内外側穴径	13
H：室外側穴径（1面カット）	12.2
I：回り止め加工（1面カット）	11.4
J：室外側穴径（2面カット）	$12 \leq J \leq 13$
K：回り止め加工（2面カット）	$10.5 \leq K \leq 11.5$

6. 解説

6.1 ドアスコープとは

訪問者を室内から確認するために玄関などのドアに取り付ける防犯用広角レンズのこと。室外からの覗き防止として、室内側にカバー部品を取り付ける場合がある。

6.2 ドアスコープの適用扉厚について

市場に流通しているドアスコープは、一般的に複数の扉厚に対応するため、ドアスコープの胴体長さを調整する機構を有している。

調整機構による調整代は製品によって異なり、多岐にわたるため、胴体長さを標準化の対象外とした。

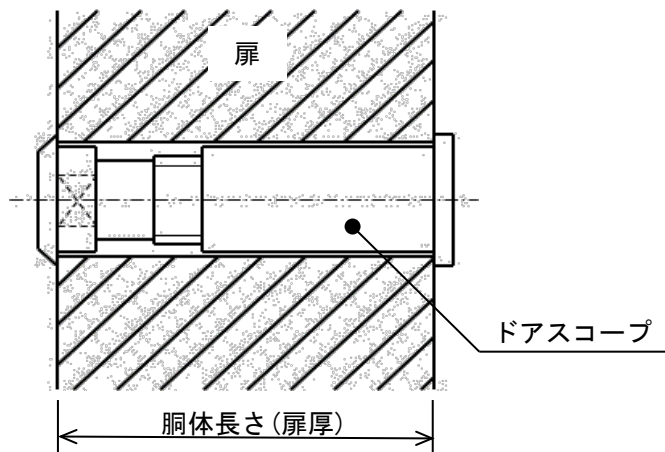


図 3 - 胴体長さ(扉厚)

7. 共通事項

7.1 寸法について

寸法は基準値を示し、公差・許容差を表すものではない。

7.2 交換について

交換については、専門知識を有する者が行うことを推奨する。

注記) 専門知識を有する者とは：専門的知識、技術、経験を有する者である。